

# パネッタ米国防長官訪日 - 米軍再編の強制に反対する抗議文

バラク・オバマ米国大統領へ

10月24-25日、パネッタ米国防長官が訪日している。在日米軍横田基地において、パネッタ国防長官は、米国がアジア太平洋地域の覇権を確立する上で、日米軍事同盟が要であると演説した。パネッタは、辺野古新基地建設や岩国基地大強化など米軍再編の早期実施を求め、日本政府を恫喝するために来日した。10月25日の本日、野田首相、一川防衛相などとパネッタ国防長官が会談する。そのなかで、パネッタは、防衛省が辺野古新基地建設にむけ環境影響調査評価書を沖縄県へ年内に提出することや、来年6月までに公有水面埋め立て工事を沖縄県知事へ申請することなど、「辺野古移設の進展」を強烈に介入し指示するといわれている。私たちは、これに断固反対し、抗議する。

在日米軍の75%を集中される沖縄人民は、普天間基地の即時撤去 - 辺野古移設阻止、オスプレイ配備の絶対反対、高江ヘリパッド着工阻止など、軍事基地撤去を求め、闘っている。さらに与那国・宮古・石垣などへの自衛隊の沖縄配備増強に反対闘争を強め、日米政府の沖縄差別軍事支配を打破する闘いが高揚している。山口県岩国市の多数の市民も、米核空母・艦載機の岩国基地移転や愛宕山・米軍住宅計画に反対し、粘り強く、平和的生存権を求めて行動している。神奈川県でも、米核空母ジョージ・ワシントンなど第七艦隊の横須賀母港化反対闘争や、厚木航空基地・米陸軍座間基地・相模補給廠など米軍基地・施設を撤去にむけ、多くの住民が取り組んでいる。

そればかりではない。韓国民衆は、クンサン基地、ムゴンニ米軍演習場、ピョンテク基地などの反対闘争を続け、米兵犯罪の根絶と駐韓米軍の撤去をもとめ、不屈に闘っている。最近では、済州島カンジョンの韓国海軍基地建設にたいして強烈な反対闘争が行われている。自然と民衆生活を破壊する済州島・韓国海軍基地建設は、米軍がそれを使用し、ふたたび朝鮮戦争の勃発や対中国軍事対決の激化が危惧されている。韓国民衆はもちろん、沖縄-日本「本土」の民衆やアジア、世界の民衆も済州島カンジョンの韓国海軍基地建設に強く反対している。

また、巨大な米軍基地の撤去をかちとったフィリピン人民も、イラク・アフガン、そしてアジア太平洋からの米軍撤収を求め、反米軍闘争を強めている。

我々は、沖縄・岩国・神奈川の反基地闘争、そして韓国、フィリピンの反米軍闘争と連帯し、日米軍事同盟の強化や米軍再編計画をぜったいに許さない。アジア太平洋からの米軍基地撤去は、アジア各地民衆の総意である。パネッタ米国防長官の訪日と日米会談に断固として抗議し、以下、要求する。

- 一、普天間基地を即時撤去し、辺野古移設・高江ヘリパッド建設・オスプレイ配備を断念し、沖縄から米軍基地を撤去しろ！
- 二、米核空母・艦載機の岩国基地移転と愛宕山米軍住宅計画を中止しろ！米軍は岩国からでていけ！
- 三、米核空母ジョージ・ワシントンと第七艦隊の横須賀母港化をやめろ！  
厚木基地・座間基地・相模補給廠を即時に返還せよ！
- 四、米軍再編計画を即刻中止しろ！日米軍事同盟を廃棄せよ！
- 五、アジア太平洋から米軍は総撤収せよ！

2011年10月25日

アジア共同行動（AWC）日本連絡会議

東京都港区新橋5-17-7 小林ビル2階 全国一般労働組合全国協議会気付  
京都府宇治市広野町西裏99-14 パール第一ビル三階 自立労働組合連合気付